

第1回大口町行政経営審議会 議事録

- 日時 平成27年6月24日 木曜日 午後7時から
- 場所 大口町役場 2階 第1会議室
- 出席者 吉田美晴（社会教育委員）、田村健治（国際交流事業推進委員）、舟橋里美（商工会）
木野由美子（NPO法人まちねっと大口）、吉田和江（NPO法人子どもと文化の森）
加藤正男（タイム技研株式会社）、山田吉昭（株式会社青山製作所）、丹羽昭雄（有限会社宝製作所）、片岡聡（愛知銀行）、岩崎恭典（四日市大学教授）、棚村重三（元区長会長）、江端満世志（元議会議員）、井上正直（公募による委員）、日比野喜也（公募による委員）、井上隆夫（公募による委員）
- 事務局 馬場輝彦（総務部長）、社本寛（政策推進課長）、岩田雄治（政策推進課）
稲垣敦（プロジェクトリーダー）、小島金彦（プロジェクトサブリーダー）
松井宏之（生涯学習課）、喜来美樹（行課政）、岩崎義宏（プロジェクト）
加藤栄司（一般社団法人 地域問題研究所）
- 議題 1 正副会長について
2 第7次大口町総合計画の策定について
(1) 概要説明
(2) 策定方針と策定経過について
(3) アンケート結果について
3 その他
- 配布資料 資料1：「大口町行政経営審議会条例」について
資料2：大口町行政経営審議会条例
資料3：「総合計画」について
資料4：第7次大口町総合計画の策定について
資料5：第7次総合計画策定体制イメージ
資料6：第7次大口町総合計画策定スケジュール案
資料7：大口町の将来人口推計の結果
資料8：第7次大口町総合計画策定のためのアンケート結果報告書
資料9：「地方版総合戦略」の策定について

1. あいさつ

鈴木町長	<p>○第1回行政経営審議会にお集まりいただき感謝申し上げます。</p> <p>○委員の委嘱状につきましては、時間の関係上、机上に配布させていただきました。</p> <p>○本審議会は、大口町の未来を考えていただく上で、今までのいき方で良かったのか、また、このいき方を続ければ良いのか、あるいは、新たにどこかで改革をしていかなければならないのかといった、いろいろな選択を持った重要な会議です。皆様方には、これからの道標を考えていただきたいと思います。この町も52年が流れました。私は選挙の際、次の50年後という話をさせていただきましたが、人口が益々減少していく中で、今までのいき方で良いのかどうかといった根</p>
------	---

	<p>底の部分の皆様方にもご相談させていただきながら、考えていきたいと思えます。子ども達にこの大口町を残してやりたいという想いで皆様方にお集まりいただいております。子ども達が自信を持って大口町に住んでいると言えるような、そんなまちづくりに向けた指針をご提示いただき、その方針に従って町の運営に関わっていきたくと考えております。大口町は我々の故郷として大切に残す必要があります。是非、皆様方の想いを今回の基本構想の中に入れていただき、まちづくりにご協力をお願い致します。</p>
--	--

2. 委員自己紹介

吉田委員	○大口町社会教育委員の吉田です。よろしくお願いします。
田村委員	○大口町国際交流事業推進委員の田村です。よろしくお願いします。
舟橋委員	○大口町商工会女性部の舟橋です。よろしくお願いします。
木野委員	○大口町民活動センターの管理運営をしております。まちなっと大口の木野です。よろしくお願いします。
吉田委員	○子どもと文化の森の吉田です。よろしくお願いします。
加藤委員	○タイム技研の加藤です。よろしくお願いします。
山田委員	○青山製作所の総務を担当しております山田です。よろしくお願いします。
丹羽委員	○有限会社宝製作所の代表取締役の丹羽昭夫です。よろしくお願いします。
片岡委員	○愛知銀行大口支店の片岡です。よろしくお願いします。
岩崎委員	○四日市大学総合政策学部の岩崎です。これから、大口のことを勉強しなければならないと考えております。よろしくお願いします。
棚村委員	○元北区長の棚村です。よろしくお願いします。
江端委員	○元町会議員の江端です。今年4月まで現職でやっておりました。現在は個人企業主として店を経営しております。
井上（正直）委員	○大口町で農業を行っております井上正直です。よろしくお願いします。
井上（隆夫）委員	○大口町に30数年住んでいます井上です。6年間の海外生活をしています。よろしくお願いします。
馬場部長	○4月から総務部長を務めております馬場輝彦です。一緒に勉強させていただきたいと思っています。よろしくお願いします。
社本課長	○政策推進課長をしております社本です。これから10年、いろいろとお世話になると思います。よろしくお願いします。
政策推進課 岩田	○政策推進課の岩田雄治です。事務局として皆様に連絡等をさせていただきますので、よろしくお願いします。
プロジェクト リーダー 稲垣	○第7次総合計画策定プロジェクトのプロジェクトリーダーを務めさせていただいております稲垣です。プロジェクトは昨年7月に設置されました。その間、職員アンケート、職員研修を実施しまして、現行の第6次の見直し作業を行っております。よろしくお願いします。

議 会 事 務 局	○プロジェクトサブリーダーの小島金彦です。よろしくお願いします。
小 島	
松 井	○生涯学習課の松井です。よろしくお願いします。
喜 来	○行政課の喜来です。よろしくお願いします。
プロジェクト	○プロジェクトの岩崎義宏です。よろしくお願いします。
岩 崎	
地 問 研	○地域問題研究所の加藤です。裏方として、計画づくりのサポートをさせていただきます。よろしくお願いします。
加 藤	
鈴 木 町 長	○私の父が町長をやっておりました時、総合計画は自分にとって指針だと言っておりました。これからの大口町を指針に沿ってつくっていくということは、大切なことだと考えておりますので、皆様方には良い方向性を出していただきたいと期待しております。よろしくお願い申し上げます。(町長退席)

3. 議題

(1) 正副会長について

馬 場 部 長	○正副会長の選任について、いかがいたしましょうか。
委 員	○今日、初めてであり、面識がない方々も多いということで、事務局の考えを示していただきたい。
馬 場 部 長	○事務局案としては、会長には行政の政策等に詳しく、大口町の施策にも以前から関わりを持っていただいております四日市大学の岩崎恭典先生にお願いしたいと思えます。また、副会長には町の住民であり、各種団体との関係も深く、女性の代表といたしまして、まちなつと大口の木野弓子さんをお願いができたらと思えます。(拍手により承認)
岩 崎 会 長	○大口町行政経営審議会の会長、議長ということですが、私自身は大口町をあまり知りませんので、大口町を勉強させていただくとともに、皆様の意見の引出し役、整理役に徹したいと考えております。 ○専攻は地方自治であり、大口町とは1年に1回程度、自治組織の集会等でお話をさせていただいております。今後、5年、10年と引き継いでいけるような計画策定のお手伝いができることを嬉しく思っています。
木 野 副 会 長	○岩崎先生には、まちなつとが大変お世話になっております。この先10年、大口町がどのようなようになっていくのかを考えながら、皆さんとお話しができれば良いと思えます。

(2) 第7次大口町総合計画の策定について

① 概要説明

会 長	○本日は何かを決める会議ではなく、第6次、第7次の総合計画がどのようなもの
-----	---------------------------------------

	<p>なのかを把握し、計画策定に当たっての我々の任務を確認するのが、本会議の到達目標と考えます。</p>
事務局 岩田	<p>※資料3『総合計画』について」の説明</p>
会長	<p>○そもそも総合計画は何であるかという説明でしたが、本計画は将来像を具体化する計画であり、最上位の計画であることから、様々な個別計画も本計画の方向性に沿ったものとなります。そのような重要な計画をここで議論することとなります。</p>

② 策定方針と策定経過について

事務局 岩田	<p>※資料4「第7次大口町総合計画の策定について」の説明</p>
委員	<p>○ベンチマークはどのようにするのでしょうか。例えば、江南市の10年計画、犬山市の12年計画等ですが、どこを参考にするのでしょうか。</p>
事務局 社本課長	<p>○各自治体もそれぞれ工夫しながらつくっていることは確かですが、大口町が目指す町の形態に一番近いのが岩倉市なので、第7次では、あくまで参考ですが、岩倉市を参考にさせてもらっています。</p>
委員	<p>○これからの高齢化により、人口減少が進む中、どのようにして大口町に人を転入させるかといったことが、成長戦略のキーポイントになると思います。周辺の市町はどのようにやっているかを勉強しつつ、大口町の独自性を出すことが必要と考えます。端的に言えば、大口町は住みやすいので、大口町に移ろうという意識にさせるような計画にしていきたいと思います。</p>
会長	<p>○他から人口を取ってきて、外に出さないようにすればよい訳ですが、そうするためにはどのような町の将来像であるべきか。例えば、子どものある世帯に定住してもらうためには、子育て環境を充実させるだとか、穏やかな老後が過ごせるまちにするといったことが必要でしょうから、そういったことを総合計画で示し、10年後のあるべき姿を目標とするのが基本構想だろうと思います。</p> <p>○皆様方には、それぞれご専門の立場から意見をだしていきたいと思います。</p>
委員	<p>○資料2の第2条で「審議会は次に掲げる事項について調査審議する」と謳ってあります。さらに、資料5では審議会の位置付けが示してあります。しかし、資料6を見る限り、どこで我々の意見が反映されるのかが見えてこないと思います。</p>
会長	<p>○「審議会の会議は、町長の諮問に応じ、会長が招集し」（審議会条例第6条）となっています。これを踏まえて、資料6を見ますと、諮問と計画案の審議が9月に予定されていますので、正式に審議会として議論を始めるのは9月くらいからではないかと思います。また、(資料6「審議会・議会」の欄) 1から4まで数字が振ってありますが、第3回だけが9月中旬から10月上旬にかけて長く示してありますので、集中審議するイメージがあるのかと感じます。</p> <p>○計画素案に対し委員の皆さんや町民の皆さんが審議会やパブリックコメントで、</p>

	意見を出し、その結果を第4回でまとめ、答申するということになると思います。
事務局 岩田	○スケジュール案(資料6)には第3回一つしか示してありませんが、皆様の了解が得られれば、複数回を希望したいと思っております。 ○諮問、答申は11月となっていますが、条例では「会長が必要があると認めるときは、町長の諮問によることなく会議を招集することができる」(審議会条例:第6条)とありますので、会長の招集により集まっていますので、この中身についてご審議いただくということも想定しております。
委員	○今回の計画については、ある程度の数値目標を入れるということもあると思いますが、人口目標、歳入目標等を入れようとする時に、このスケジュールで必要情報を収集、分析することには無理があると感じます。
会長	○審議会としてこういった形で議論していくかに掛かってくると思います。数値目標を一つひとつ検証するとなるとけっこう大変だと思いますが、町長の諮問がこういった形で出てくるのかによります。数値目標の妥当性をチェックすることも重要ですが、審議会委員の皆さんは町の代表でもありますので、数値目標を含めた上での大局的な視点から、計画案に対する評価、見解がいただけたらと思います。 ○作業の進捗如何にもよりますが、第2回では、どこまでをこの場で議論するのか、どんな数値を持ってくるのかといったことは議論できると思います。
委員	○数値的な目標設定の項目にはどんなものがあるのでしょうか。
事務局 岩田	○個別の計画の中で、将来値を検証可能なものについて検討しています。
会長	○目標設定の数値として、例えば、今回のアンケート結果の現状値がこうだから目標値をここまで設定しようといった数値目標の置き方もあるかと思います。
委員	○数値として掲げられない事業の場合、前期、中期、後期のように期間設定をして、例えば、10年スパンであれば中期くらいに目標設定して中期で完成させるといったような形にしたほうが良いのではないのでしょうか。 ○部会を開催し、4つの部会をつくるとしていますが、審議会を部会に分ける事はあるのですか。
会長	○委員の皆さんの希望もあると思います。部会で集中的に議論できるということはありませんが、総合計画なので全体でということも必要になります。第3回目以降の形についてはこの場で提案いただき、第2回の際に審議させていただきたいと思っています。
委員	※途中出席のため、この場で自己紹介 ○日々野喜也です。大口町在住21年であり、まちのために何かお役にたてればと思っています。よろしくお願いします。

③ アンケート結果について

地問研 加藤	※資料8「第7次大口町総計画策定のためのアンケート結果報告書」の説明
-----------	------------------------------------

委員	○（アンケート調査結果報告書P25）「満足度と重要度の評価」の表について、項目に期待効果も加えるべきではないでしょうか。計画にこの結果を反映させるときに、期待効果も踏まえて反映させてほしいと思います。
会長	○この結果では最優先だけれども、計画に最重要として取り上げる項目かどうかとは別物ということですが、アンケートの内容が、大きな効果につながる可能性はあると思います。
地問加 研藤	○分析をすればこうなるという結果であって、これを改善すれば良いまちになるということではありません。 ○（アンケート調査結果報告書P26）ポートフォリオ分析図中に「地域に住む外国人との交流」、「NPO・ボランティア活動への支援」、「区の活動やコミュニティ地域活動の活発さ」これらの満足度は平均的であり、重要度はむしろ低めの結果が出ています。これらは、重要ではないかのようにとられるかもしれませんが、人口や財政の問題、町と地域住民との協働といった観点から非常に重要なことだと思います。町民にとって最重要と捉えられていない案件には取り組まないというのは早計だと思います。 ○これらの結果をどのように活かしていくかということについて議論していかなければならないと思います。
委員	○近隣の市町と比較して、何が優れているのか、何が劣っているのかといったこともベンチマークしていただき、これからの施策に反映していただければと思います。
会長	○強み、弱みを押さえておくことも必要だと思います。おそらく、町は施策展開の基礎作業で町の強み、弱みをまとめていると思いますので、次回、提示いただければと思います。 ○（アンケート調査結果報告書P68）68ページの救急講習受講の有無のグラフを見ると町民の半数の人が講習を受けていることになるけれども、こんな自治体は見たことがないので、これはウリにすべきだと思います。
委員	○ポートフォリオ分析は初めて目にしたが、この分析の信ぴょう性が気になるので、どういった分野でどのように利用されているかといった説明をしていただきたい。
地問加 研藤	○ポートフォリオはマーケットの世界でよく使われています。評点については、データ加工していますが、性質の違うデータを評点化して比較するということは一般的に行われていることです。その相対的位置関係を2軸で見るのがポートフォリオ分析です。
会長	○ポートフォリオ分析の結果だけをやっていくというのであれば、この審議会は必要ない訳で、今後の人口推計やこの地域の状況、生活環境等を踏まえて上でポートフォリオの結果から重要なものを拾い出すことが審議会の仕事だと思います。 ○アンケートは町民の皆さんの現況について聞いていますが、10年後のことについては聞いていないので、審議会としては、今後、重要となりそうなもの、もっ

	と満足度を上げなければならないものを拾い出していかなければならないと思います。そういった意味でこの資料は重要な参考資料ですが、必ずしもこれに拘束されることはないと言えます。
委員	○（アンケート調査結果報告書P4）アンケートに結果の年齢構成がグラフに出ており、高齢者に偏っていることが見てとれますが、実際の大口町の年齢構成はどのようなになっているのでしょうか。
事務局 岩崎	○データはありますので、一度考えてみます。
地問研 加藤	○（アンケート調査結果報告書P1）1ページ目に標本誤差で出ていますが、年齢別の誤差も出すことはできます。 ○一般的に細かくすればするほど誤差は大きくなります。今回の調査は全体として3%以内に収まっていますので、標本調査としては正解と言えます。
委員	○考え方をうかがいますが、アンケート結果に基づいてある程度試案がつけられており、それを我々が審議するということでしょうか。我々がこのアンケート結果を読んで方向性を見出すとなると大変な作業になると思います。
事務局 岩田	○アンケートに基づいて計画を我々が作っていますが、その作った計画を皆さん方に見ていただくということになります。このアンケートから皆さん方に作っていただくということではありません。
事務局 本社	○皆さん方に意見を出して頂く時に、大まかな傾向を知っていただかなければならないので、厚い資料ですが、お配りしました。
事務局 岩田	※資料9「『地方版総合戦略』の策定について」の説明
会長	○これは、年度内に策定するよういわれているので1月、2月に1回か2回は関わることになると思います。

4. その他

事務局 岩田	※今後の予定について説明
-----------	--------------

以上